

## 美郷町商工会・美郷町企業連携協議会 新入社員の集い

3月28日に、この春町内企業に入社する10社38名と関係者などが出席し、名水市場湧太郎で新入社員の集いが開催されました。主催者である美郷町商工会の齊藤伸英会長と、美郷町企業連携協議会の檜森吉裕会長による激励のあいさつに続き、新入社員を代表して株式会社ヤマダフーズの大阪朝美さんが「今日ここに集まった私たちは、今年度美郷町の企業に入社する仲間です。ともに働き、切磋琢磨できる、お互いにとって心強い存在になれることを心から望んでいます。皆さまから信頼され、企業の発展に貢献できる人間になれるように日々精進していきます」と抱負を述べました。

式典終了後には研修会が開催され、北都銀行ビジネスサービス部の時田悦子さんからあいさつや言葉遣いなどのビジネスマナーについて学びました。



## 27年度の入館者は近年最多 千畑温泉が入館者100万人達成

3月30日、千畑温泉サン・アールの有料入場者数が100万人に達しました。めでたく100万人目の来場者となった佐々木カツ子さん(一ツ屋)には、美郷温泉振興株式会社から記念品として花束とペア宿泊券が贈られました。



## 美郷町企業紹介型企業誘致サポーター事業認定第1号 アルファダイヤモンド工業株式会社が 美郷町内に秋田事業所を開設

4月5日、アルファダイヤモンド工業株式会社の秋田事業所開所式が、同事業所敷地内で開催されました。

同社は、工業ダイヤモンドによる光学レンズ等の加工用砥石などを製造する企業です。

このたびの開設にあたり、秋田県からの誘致企業の認定を受けているほか、町内企業である有限会社さとう技研に紹介された経緯により、美郷町企業紹介型企業誘致サポーター事業の第1号としても認定されました。

◀写真左より、松田町長、さとう技研佐藤六廣会長、アルファダイヤモンド工業松井久男会長、アルファダイヤモンド工業平井勝社長、さとう技研佐藤純社長、中島副知事



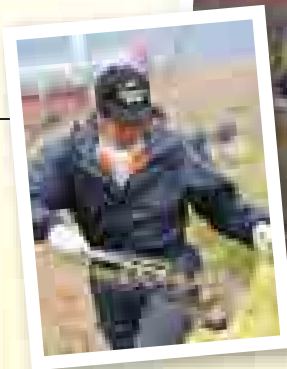
## かけがえのない水環境を守る 水辺環境クリーンアップ作戦

4月17日、仙南地区を流れる出川で水辺環境クリーンアップ作戦が開催され、町内外から約150名のボランティアが参加しました。

集まった参加者は橋本橋からスタートし、中島橋までの区間を右岸と左岸の2班に分かれて清掃を行いました。

川沿いに散乱する空き缶やペットボトル、廃ビニールなどを手で拾い集めたほか、竹竿を用いて川の中のごみを手繰り寄せて取り除きました。

参加者の皆さん、ご協力ありがとうございました。



# 第3回 町議会 臨時 会

平成28年第3回  
町議会臨時会が3  
月29日に開かれま  
した。審議された  
議案は次のとおり  
です。

## 可決された案件

### ■平成27年度美郷町一般会計補正予算第10号

国の「地方創生加速化交付金」「地方公共団体情報セキュリティ強化対策費補助金」の事業採択に伴う予算の追加などについて歳入歳出予算にそれぞれ3億6802万5千円を追加し、総額15億2376万7千円としました。

### ■平成28年度美郷町一般会計補正予算第1号

地方創生事業費の追加などにより、歳入歳出予算にそれぞれ468万4千円を追加し、総額110億4056万7千円としました。

## 議会事務局からのお詫びと訂正

4月15日発行のみさと議会だより第47号において、次のとおり誤りがありました。訂正をお知らせするとともに、心よりお詫び申し上げます。

### ■9ページ

公民館改修工事の予定期間について  
誤：1月から3月まで  
正：11月から3月まで

### ■10ページ

わくわく児童クラブの写真について、みさとこども館の写真となっていました。現在、わくわく児童クラブは、六郷小学校内にあります。



水辺環境クリーンアップ作戦の開始前にあいさつをする松田町長

## コラム 風

### 「二つずつ前に」

美郷町長 松田知己

お風呂をテーマに話が進んでいく奇想天外な漫画「テルマエ・ロマエ」。映画化されてテレビでも放映されておりますので、ご覧になった方も多いと思います。話の背景は、後世の学者によってパクスロマーナ（ローマの平和）と名付けられた時代。治世安楽で、ローマ帝国の中でもっとも幸福だった時代と言われています。

ギボンという学者が名付けたパクスロマーナの治世。その詳細については高校での世界史不勉強（不真面目）ゆえに、よく記憶しておりませんが、きっといろいろな制度や施設などが整備され、市井（しやう）の人が平穏な日常生活を当たり前に繰り返すことができた時代、あるいは不穏な事柄や争い事、天変地異が少なく、安定した生活を重ねることができた時代だったのではないかと思うところです。

さて先日、そうした「平和」を一瞬にして奪う天変地異が発生しました。熊本地震です。発生したあの夜、私はテレビのニュース番組を聞き流していました。突然心ざわめく音が流れ、画面に目を転ずると緊急地震速報。その後、徐々に明らかになる被災の実態、そして余震に伴う被害拡大の映像は、まさに平

和の欠片（かかけら）も無い状況でした。被災して日常の平和を奪われた皆さま、そしてお亡くなりになられた方々には、心からの御見舞いとお悔やみを申し上げます。そして彼の地の着実で迅速な復興を心から願いたいと思います。こうした状況を目の当たりにしますと、改めて備えの大切さを再認識いたします。ちなみに、千屋断層を抱えている此の地は、主な施設の躯体耐震補強は終わっています。吊り天井の耐震改修も今年度公民館に着手（年度後半はご不便をお掛けしますが）、残り僅かとなります。さらに今年度は情報対策にも着手し、屋外の防災行政無線に加えて、屋内対策として3か年計画で各世帯に防災ラジオを配布する予定です。土砂災害危険区域など優先地域から配布していくこととしておりますので、みなさんのご理解をお願いいたします。災害への備えは「分け入っても分け入っても青い山」的な感じですが、「二つずつ前に」の認識で取り組んでまいりたいと思います。